

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第88回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2023年10月24日（火） 10:00-11:50
2. 場所：Web会議（Webex）
3. 出席者：岡本主査、目黒副主査、杉山幹事、青井、石原、工藤、黒川、小山、佐藤、鈴木、高橋、田中、田村、鳥居、仲田、西村、平井、見上、山本（欠席：中村）（敬称略）
4. 配布資料
 - ① R3SC-88-1 人事案件
 - ② R3SC-88-2 第87回廃止措置分科会議事録(案)
 - ③ R3SC-88-3-1 耐震安全技術レポート本文（案）
 - R3SC-88-3-2 耐震安全技術レポート本文（案）新旧対比表
 - R3SC-88-3-3 耐震安全技術レポート付録E（案）コメント対応表
 - R3SC-88-3-4 耐震安全技術レポート付録E（案）
 - R3SC-88-3-5 耐震安全技術レポート付録G（案）
 - R3SC-88-3-6 耐震安全技術レポート 専門部会中間報告（案）
5. 議事
 - (1) 一般事項
 - ① 19/20名の出席により分科会成立を確認した。
 - ② 人事案件
（関西電力）生駒委員の退任が承認された。また（関西電力）鈴木氏の委員就任が投票により承認された。
 - ③ 次回の分科会は、11月16日 9:00～11:00（オンライン開催）
 - (2) 前回議事録確認 [R3SC-88-2]
特にコメントなし
 - (3) 耐震安全技術レポート付録E（案） [R3SC-88-3-3、-4]
 - 担当委員より付録Eのコメント対応内容及びその他の修正内容について説明があった。また、作成中の付録Gの概要について説明があった。
 - ✓ 岡本主査から、廃止措置中の炉内構造物にそれだけのリスクがあるのかどうかなど、グレーデッドアプローチに逆行しているような違和感があるとコメントがなされた。これに対して、担当委員から概略評価はリスクの小さい（安全重要度ランクがDになる）工事を抽出するための手法として用意したものであることを説明した。さらに、今回の試算の目的は、燃料がなくなった状態ですべての工事の安全重要度ランクがBになるのかを確認することが目的であり、まず、概略評価でリスクの大きい可能性のある工事を抽出し、現実性及び実力を考慮して詳細評価を行っており、物量として

80%以上を占める安全重要度ランクDに該当する解体工事の説明がほとんどなく、炉内構造物の解体に関する評価になっていることも担当の委員は説明した。さらに、別の担当委員から、炉内構造物のインベントリが大きいことに対してどうしていくか、を踏まえて、確定的評価の中での最確評価を行うことを考えたことも説明された。

以上の説明に対し、岡本主査から、考えはわかるが、炉内構造物がある間は運転中と同じ管理をすることを要求することにならないかというコメントがなされた。

- ✓ 本技術レポートにコメントをされた委員から、技術レポートで言えることは何かを考えたときに、現実的にはあり得ないケースを参考評価していることをファイディングとしてはどうかということを考えてのコメントであると説明があった。
 - ✓ 岡本主査から、グレーデッドアプローチの考え方を示したうえで、よりリスクが高い炉内構造物を取り上げたことを、誤解を与えずに理解できるよう、本文を含め書き方、見せ方を工夫することと指摘があり、担当の委員から、この意見を反映すると説明があった。
 - ✓ 目黒副主査から、付録C、Dで書き起こすところはその旨を付録Eで記載しておくことと指摘があり、このことについても、担当の委員から、反映すると説明があった。
- (4) 耐震安全技術レポート本文（案） [R3SC-88-3-1、-2]
- 担当の委員から、本文について過去のコメント積み残し分及び付録Eのコメントに対応した変更について説明があり、コメントはなかった。
- (5) 耐震安全技術レポート付録G（案） [R3SC-88-3-5]
- 担当の委員から、付録Gの記載内容について説明があった。また、付録Eの見直しに応じて付録Gも見直すと説明された。以上について、コメントはなかった。
- (6) 耐震安全技術レポート 専門部会中間報告（案） [R3SC-88-3-6]
- 担当の委員から、専門部会中間報告資料の案について説明があった。
 - ✓ 岡本主査から、専門部会中間報告（11/8）はこの資料で願います。廃止措置プラントは運転中プラント、福島第一とはリスクの量だけでなく質が決定的に異なること、そのリスクに合わせた対策を行うことを理解してもらえるよう説明するように求められた。
 - ✓ 中間報告では、担当の2名の委員から説明することとなり、今回の分科会に出席の19名全員の委員の賛成により、本資料で専門部会への中間報告を行うことが了承された。

以上